

「柴田 亜衣」プロフィール

福岡県太宰府市に生まれる。父親の転勤で、3歳の頃、北九州市へ引っ越したとき、近くにスイミングスクールがあり、泳ぐことが好きな母と姉と通うようになる。

小学2年の時に徳島県美馬市脇町へ移り、地元のスイミングスクールに通い、。徳島県立穴吹高等学校を経て、2001年4月に鹿屋体育大学に進む。

大学在学中に、アテネオリンピックの競泳女子400m、800m自由形の代表に選出される。

800m自由形では、大本命と言われたフランス代表のロール・マノドゥを中盤過ぎの500m辺りから、じりじりと追い上げ最後の残り50mのターン付近でマノドゥを、ついにとらえて大逆転、見事に金メダルを獲得する。オリンピックで女子自由形の金メダル獲得は、日本人初の快挙であった。

大学卒業後は、同大学院に進み、その後(株)デサントを経て、現在は(株)Plumin所属して、スポーツの普及活動をメインに、水泳の楽しさ、水との親しみ方などを伝えるアスリートとして、全国各地を子供からマスターズまで精力的に活動中である。

また、2011年世界水泳選手権では、テレビ中継で特別解説者として出演したり、東京オリンピックの招致活動など幅広く活動している。



「ジュゼッペ・マリオッティ」プロフィール

1963年、イタリアに生まれる。幼少よりコンサート活動を始め、イタリアのピアチェンツァ音楽院にて、ピアノ、オルガン、作曲を学ぶ。1982年、ウィーン国立音楽大学在籍以来、来日までの21年間をウィーンを活動の拠点とする。大学には6年間在籍し、ピアノをハンス・グラーフ教授に師事する。

現在は、ヨハン・セバスチャン・バッハの作品から現代作曲家の作品までの幅広いレパートリーをこなす卓越した演奏家として知られ、ベーゼンドルファー社専属の特別ピアニストとして活躍している異色で多彩な芸術家でもある。

また、ウィーンの古典音楽に特別な愛着を持ち、自身が所有する古楽器でも積極的に演奏する。ソリスト、室内楽奏者、そして、声楽の伴奏者として、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、イスラエルで演奏活動を精力的に行うと同時に、ラジオ、テレビにも数多く出演している。近年では、徳島音楽コンクールの芸術監督をはじめ国際コンクールの審査員を務めたり、“ピアノの本(ヤマハ)”での連載を含む音楽出版物への定期的に執筆するなど、ますます、その活動の幅を広げている。多数の音楽評論家は、彼について「平成と情熱、熟練と天性、通性と非凡性を併せ持つ豊かな才能だ」と絶賛している。

2007年以降、現在まで同校にて常任教授・音楽学部長として学生の指導にあたっている。

